

米国輸入統計7月度実績<速報>

アジア主要地域発コンテナ貨物は前月より1.5%減

Zepol Corporation（本社・米国ミネアポリス www.zepol.com）は、8月9日、米国税関AMSデータの分析結果として、7月度輸入実績を発表しました。その中で、総量の55%を占めるアジアTop 5地域（中国、韓国、日本、香港、台湾）からのコンテナ本数（TEU）を見ると6月に比べて-1.5%と5ヶ月ぶりに前月よりも減少となりました。ただし、昨年同月比では+25.2%、リーマンショック前の2008年7月に対しても、中国に牽引されてTop 5合計で+2.9%と回復を示しましたが、韓国、日本、香港、の対08年7月比（マイナス幅）は、それぞれ、-5.5%、-16.4%、-6.4%でした。（Fig.1 参照）

Fig.1: Asia Top 5 Region TEU Trend July 2010				
Place_ Receipt	2010 July (TEU)	Change over June 10	Change over July 09	Change over July 08
#1 China	822,191	-1.4%	+26.2%	+ 6.9%
#2 Korea, South	71,587	-5.4%	+31.6%	- 5.5%
#3 Japan	61,833	-2.8%	+20.0%	-16.4%
#4 Hong Kong	58,751	+8.1%	+7.3%	- 6.4%
#5 Taiwan	48,797	-5.5%	+28.8%	- 1.0%
Asia Top 5 Total	1,063,159	-1.5%	+25.0%	+2.9%

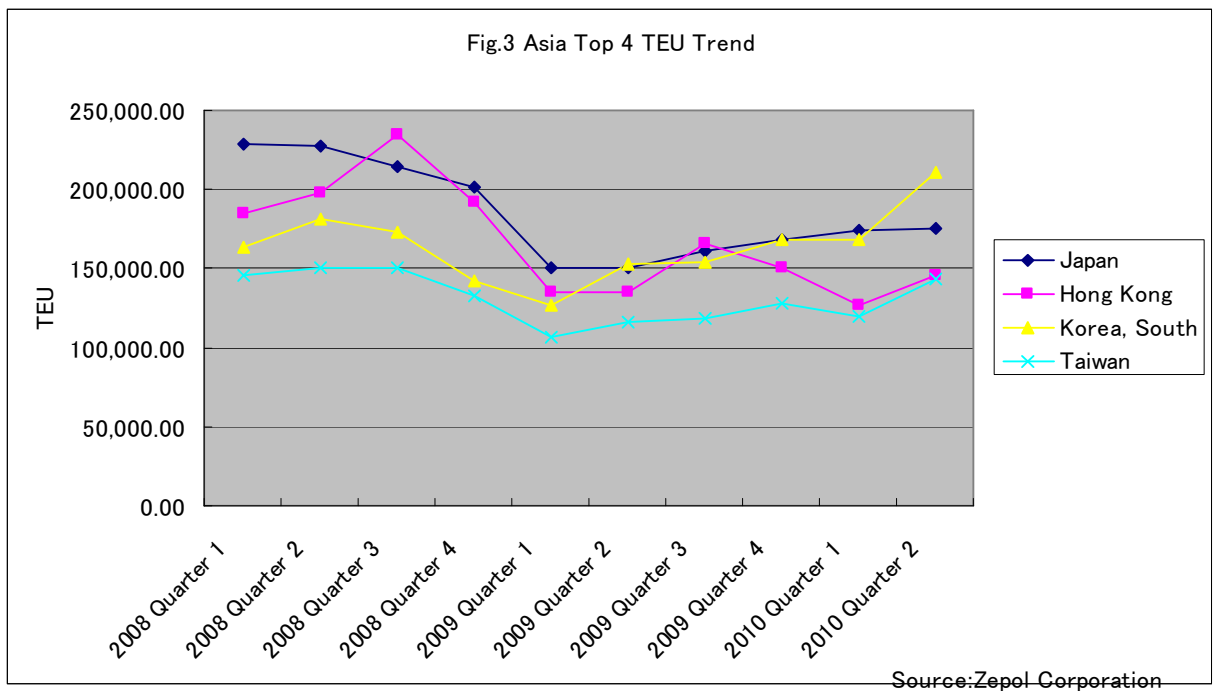
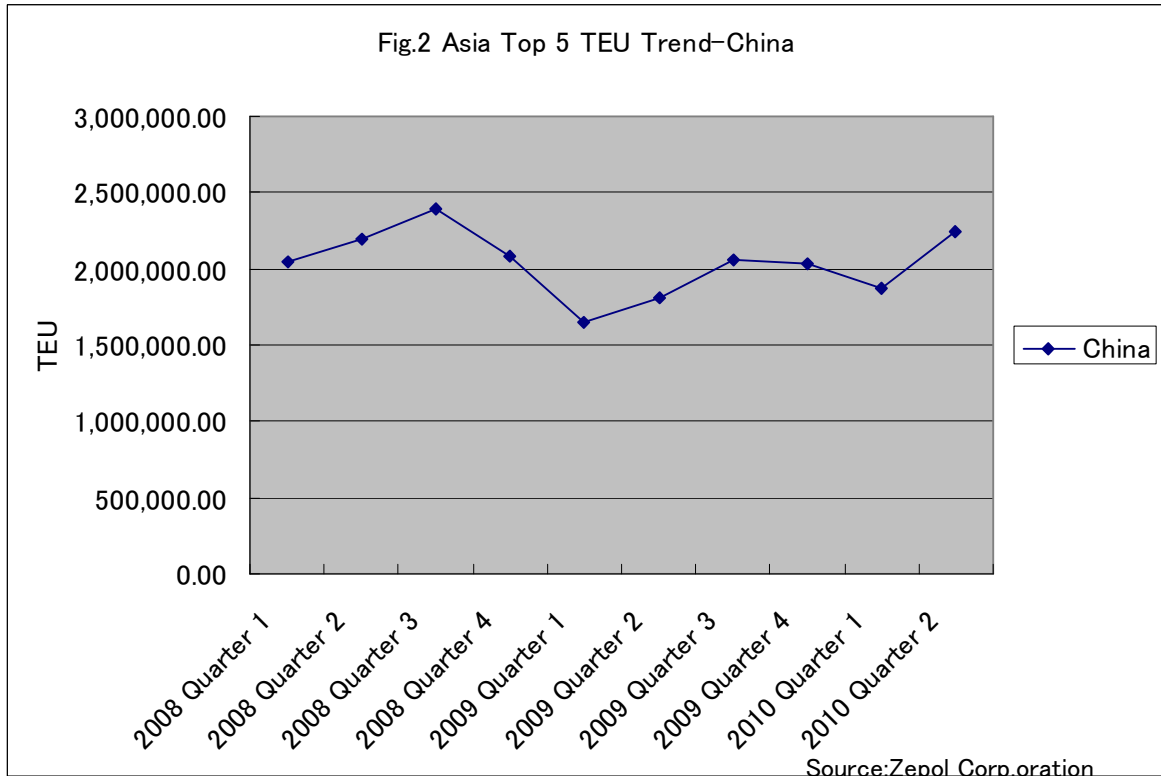
Source; Zepol Corporation-TradeIQ*

Note*Zepol TradeIQ は、米国税関AMS(Automated Manifest System)から公表される B/L記載データを Zepol 独自開発の検索エンジンによりデータベース化した米国貿易統計データで、毎日数万件に及ぶB/L生情報をパソコンから簡単にアクセスし検索・ダウンロード・分析が可能で、2003年以來、幅広く活用されているものです。*www.zepol.com ****

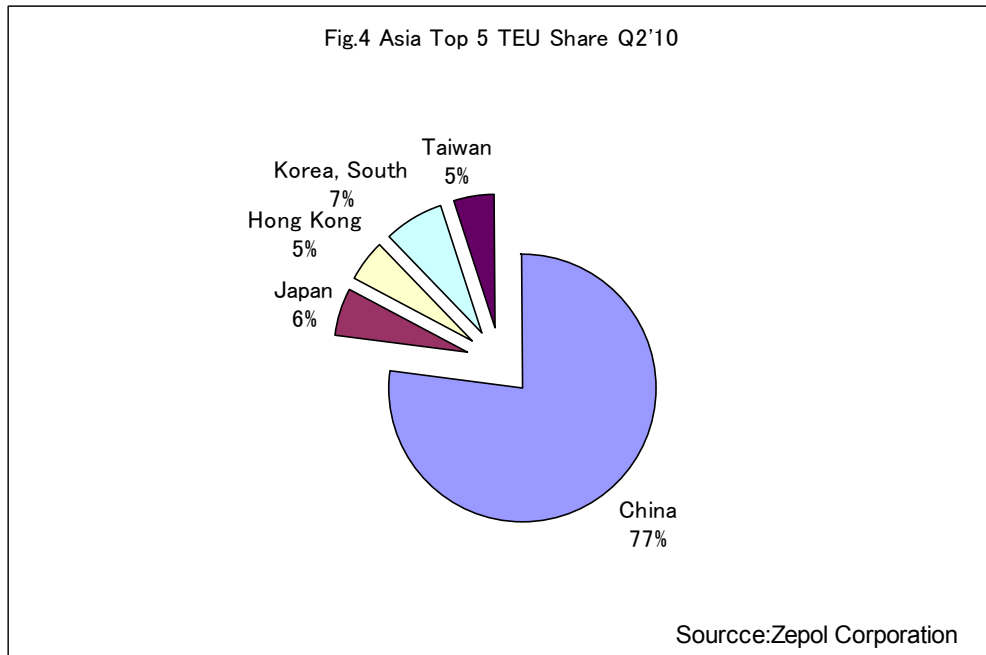
アジア Top 5 地域をさらに詳しく比較すると次の点が注目されます。

- アジア Top 5 地域の四半期毎の回復トレンドは、中国を追う 4 地域（韓国、日本、香港、台湾）の間でシェア順位を争う形で推移しております。

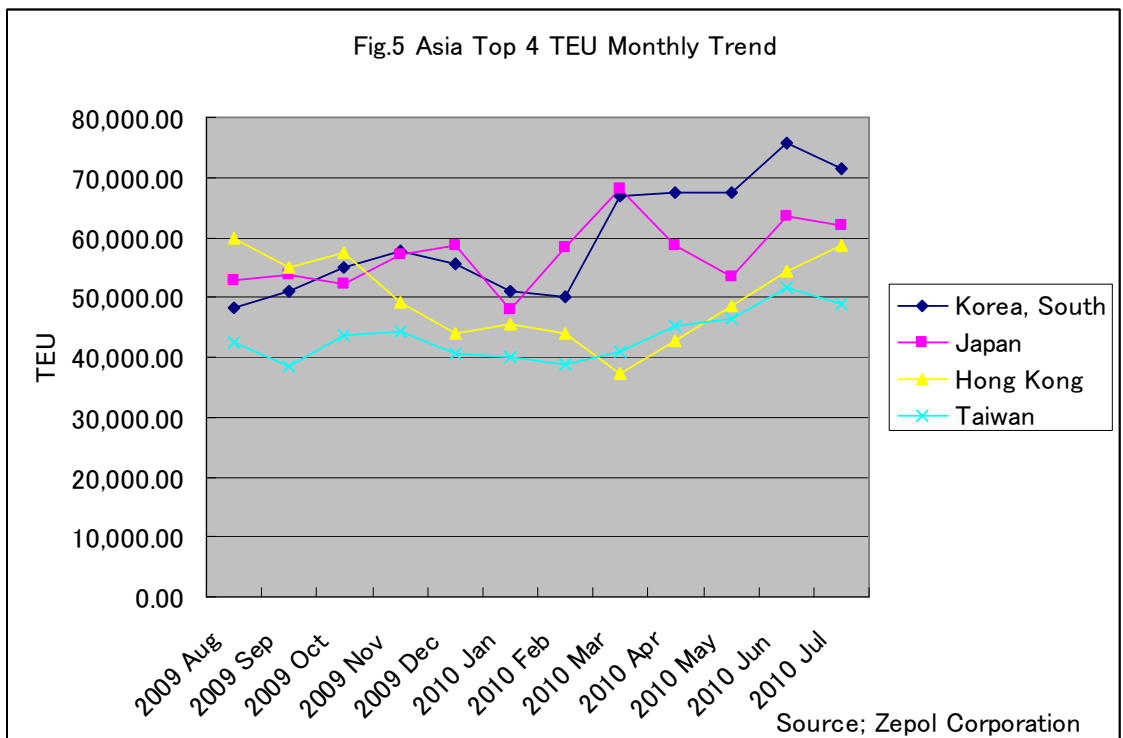
(Fig.2, 3 参照)



- 日本と韓国のシェアは、09年10-12月期で逆転し 韓国が2位,日本3位となりました。(Fig.4 参照)



- 7月度を含む過去1年間の月別トレンドでも、本年4月から7月まで連続4ヶ月間、韓国が日本の実績を上回って推移しています。(Fig.5 参照)



以上

本件のお問い合わせ先：

日本：Zepol Japan

mnanseki@zepol.jp

米国：Zepol Corporation

kevin.palmstein@zepol.com